

平成 2 1 年度

品川区立第二延山小学校

校長 宮下 和子



二延 学校だより 1月号

<http://www1.cts.ne.jp/enzan2>

不易の使命「自学共生」

校長 宮下 和子

新年 明けまして おめでとうございます。

光陰矢のごとし。1年の過ぎゆく速さに驚くとともに、改めて新しい年を迎える気持ちのすがすがしさを感じるのがお正月の良さだと実感しています。皆様におかれましては、ご健勝にて一年の抱負を語り、新年を祝われたこととお慶び申し上げます。

学校におきましてはまだ年度途中で、残る3学期が子供達にとって成長を振り返り次年度への希望と期待を育む大事な3ヶ月となります。この時期をどう過ごしていくかが4月の進級進学の実績に結びつく大事なポイントになります。悔いのない3学期になるよう教職員一同気を引き締め、子ども達の教育に当たりたいと考えています。

昨年は国際社会においても我が国においても、明るい話題が少なく、デフレ経済のもと多くの不安材料を抱えた年明けになりましたが、日本の将来を担う子供達の教育の在り方には何の揺るぎもありません。将来にわたって長い人生を生き抜き、社会に貢献できる良き市民としての日本人を育てるために、初等中等教育期では「確かな学力の定着」「教養豊かな人間性の涵養」「心身共に健康な体力づくり」が不易の使命となります。初等中等教育がその使命を十分に果たすことが、子供達自身の将来への選択肢を広げ、地に足のついた着実な夢と希望を育む糧となります。

第二延山の教育活動の理念は、教育の当事者である学校・家庭・地域・行政が一体となって子供達を育てることにあります。学校経営方針の冒頭にある3点です。

「わたしが教える」から「わたし達が教える」教師団（学年団協働システム）

「わたしが育てる」から「わたし達が育てる」PTA・地域

「当たり前のこと」が「当たり前ができる」子供

この理念のもとに、第二延山では、品川区小中一貫教育要領を最低基準として、大幅な授業時間の確保と授業改善による「見える学力」の向上を図りつつ、同時に様々な特色ある教育活動の根底に「共に生きる力」「ことばの力」を置き、年齢・学年に相応しい社会性と態度能力を育てて来ました。